

**#8月31日は野菜の日！****1/2日分の野菜が摂れる、「いろいろ野菜のトマトパスタ」発売！****～カゴメ野菜飲料とセットでお得なキャンペーンも実施！～**

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：澤田貴司）は、カゴメ株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：山口聡）の「野菜をとろうキャンペーン」に賛同した商品として、1/2日分の野菜が摂れる「いろいろ野菜のトマトパスタ」417円（税込450円）を、2020年8月25日（火）から、全国のファミリーマート約16,600店にて発売いたします。

また、「8月31日野菜の日」に合わせて、対象のパスタやサラダと一緒に「野菜生活100オリジナル」102円（税込110円）など、カゴメ野菜飲料をセットで買うと30円引き（税込）、さらにFamiPay払いで20円分のFamiPayボーナスが還元されるキャンペーンも実施いたします。

**■8月31日は野菜の日！**

8月31日は「8（ヤ）3（サ）1（イ）」の語呂合わせから「もっと野菜のことを知ってほしい」「野菜をたくさん食べてほしい」という思いで制定された記念日です。

国が推奨する1日の野菜摂取目標量は350g（※①）ですが、日本人の平均野菜摂取量は約290g（※②）と、約60gの野菜が不足しています。

野菜が主役の彩り豊かなパスタで美味しく、楽しく野菜を摂ってみませんか。

※①厚生労働省が推進する「健康日本21（第二次）」で推奨されている野菜摂取目標量は、成人1日当たり350g。

※②平成21年～30年国民健康・栄養調査（厚生労働省）での日本人の平均野菜摂取量

## 【商品詳細】

	<p>商品名： <b>いろいろ野菜のトマトパスタ</b></p> <p>価格： 417円 税込 450円</p> <p>発売日： 8月25日（火）</p> <p>発売地域： 全国 約 16,600店</p> <p>特長： <b>1/2 日分の野菜が摂れる！</b></p> <p>赤や黄色のピーマン、ブロッコリーなどの彩り豊かな具材と8種類の野菜を使ったソースが楽しめるパスタです。</p> <p>手軽に 1/2 日分の野菜を摂取できるので、日々の野菜不足解消にぴったり！</p> <p>※厚生労働省が推進する「健康日本 21（第二次）」で推奨されている野菜摂取目標量は、成人 1 日当たり 350g。</p> <p>※具材とソースから野菜が摂取できます。濃縮した原材料も一部使用。</p>
---	---

※画像はイメージです、

※軽減税率対象商品につき、税込価格は消費税 8%にて表示。

## 【カゴメ野菜飲料とセットでおトク！】

8月25日（火）～9月6日（日）まで、対象の**パスタまたはサラダ**と、**カゴメ野菜飲料**（6種類）を**セットで買うと合計金額から 30円（税込）引き**、さらに FamiPay 払いをご使用いただくと **FamiPay ボーナスを 20円還元**いたします。

### ・対象のパスタ・サラダ（一例）

いろいろ野菜のトマトパスタ 417円（税込 450円）、  
1/3日分の野菜が摂れるサラダ 276円（税込 298円）など

### ・対象のカゴメ野菜飲料

野菜一日これ一本	102円（税込 110円）
カゴメトマトジュース食塩無添加	102円（税込 110円）
野菜生活 100 オリジナル	102円（税込 110円）
野菜生活 100 マンゴーサラダ	102円（税込 110円）
野菜生活 100 ベリーサラダ	102円（税込 110円）
野菜生活 100 アップルサラダ	102円（税込 110円）

※店舗によって取り扱い商品・種類が異なります。

※パスタ、サラダの対象商品は店頭でご確認ください。

## 【野菜をとろうキャンペーンとは】

2020年1月からカゴメ株式会社が実施している、日本の野菜不足の解消を目的としたキャンペーン。『野菜をとろう あと60g』をスローガンとして、野菜摂取意欲を高める様々な施策を展開しております。

URL：<https://www.kagome.co.jp/statement/health/yasaiwotorou/>

### **【コンビニで健康をプロデュース】**

これからの健康のあり方やライフスタイルを身近なコンビニから提案する特別サイト、「コンビニで健康をプロデュース。」**8月26日にはカゴメ株式会社との「トマト」をテーマとした対談を公開します。**

URL:<https://www.family.co.jp/campaign/spot/famimatimes.html>

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニに、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

以上